

第 14 期生 英語論文チーム国際学会 参加報告

GFMC 出場報告

第 14 期生 佐藤 祐菜

◆GFMC とは…？

GFMC は、“Global Fashion Management Conference” を正式名称とする国際学会であり、ファッションに関するマーケティングとマネジメントについての新たな知見を議論する学会です。2017 年は、“Fashion, Music and Design Management in the Networked World” をテーマに、ウィーンにて開催されました。

◆発表の概要

本論文のタイトルは、“Is The Effect of Luxury Advertising on Consumer Evaluations of Fashion Brands Positive or Negative?” です。既存研究によると、自分に自信のない消費者は、店頭で自分が試着した洋服と同じ洋服を着用している魅力的な広告モデルよりも、自分の方が劣っていると感じて、その洋服を低く評価してしまうそうです。しかしながら、一般的に、企業は、消費者が洋服を高く評価することを期待して、魅力的なモデルを広告に起用しています。そこで本論は、「消費者自身のステータスに関する自信」という新たな概念を導入し、消費者による自分と広告モデルの比較が、製品評価に与える影響を再検討しました。

◆発表後記

「絶対ウィーンに行って論文発表をするぞ！」という目標で論文執筆をしていた私たち英論チーム。ついにウィーン上陸です！！今回の学会発表は、我々が小野晃典先生、第 7 期 OG で立命館大学の菊盛麻衣先生、第 10 期 OB で大学院生の石井隆太さん、14期の江黒夕夏、筆者（佐藤祐菜）という珍しい組み合わせのメンバーで参加させていただきました！

発表当日、ウィーンの激オシャレカフェで優雅に発表練習をしていた筆者と江黒（小野先生、菊盛先生、石



学会ランチの様子

(左から江黒、菊盛先生、小野先生、石井さん、著者)

井さんは先に学会に行かれました) は、自分たちの発表セッションの 15 分前には会場に着くようこのお店を出ようと、アラームをセットし、意気込んでいました。すると、LINE の通知音が鳴りました。石井さん



ザッハトルテを食べに行きました！
(左から石井さん、小野先生、菊盛先生、江黒、著者)

からでした。「もうすぐ出番だけど、大丈夫？」「…え？」そうです。なんと私たちは自分たちの発表が始まる時間を30分以上間違えていたので、私たちは叫びながらお店を出て、叫びながらウィーンの綺麗な街並みを爆走し、なんとか発表セッションが始まる3分前に会場に到着することができました。本当に、以後気を付けます。そして迎えた発表。質疑応答では、少し言葉に詰まり言い返すことができなかつた点があつたものの、悔いのない発表ができたと思います。発表後、発表を聞いてくだ

さっていた海外の研究者の方に、「面白い研究だね、引き続き研究頑張つてね」と、イケメンスマイルと共に声をかけて頂き、頑張つてよかったなと心から思いましたし、大学院でこのまま研究を突き詰めてやってみるのも、大変そうではあるけども面白そうだなと思いました（結局著者は、一般企業に就職してしまうことになったのですが）。

発表が終わった後は、観光パラダイスです！私と江黒は卒業がかかっているテスト前であるにもかかわらず延泊をし、ひたすらウィーンを満喫しました！もちろん、小野先生、菊盛先生、石井さんがいらっしゃる間は一緒に観光させて頂きました！こんな子供たち（筆者と江黒です）の相手をしてくださり、本当にありがとうございました！初のヨーロッパではしゃぐ筆者を横目に、江黒は寝てばかりだったので、先生方に構つて頂いて嬉しかったです（笑）。石井さん、よく部屋まで遊びに来てくださりありがとうございました。目標だったウィーンでの国際学会での論文発表を叶えることができ、観光まで堪能できて、悔いなしのウィーン出張となりました。今までたくさんご指導いただき、本当にありがとうございました。社会人になつても、この貴重な経験を決して忘れず、目標を持って頑張つてまいります。本当にありがとうございました！

P.S.「江黒、ウィーン来てるのに寝過ぎ事件」は、初日から最終日まで続きました。



学会会場であるウィーン大学にて
(左から石井さん、菊盛先生、著者、江黒、小野先生)